FUKUI COMPUTER

ARCHITREND ZERO

仕様表編

本書は、2025年施行の改正建築基準法による新2号建築物のうち、構造安全性を確認できる建築物で提出する建築申請図書構造関係の「仕様表」の作成を解説したテキストです。

2025年3月版で追加された仕様表のテンプレートおよび、納まり図を収録した2D部品マスタを使用しています。

目次

仕様表編

1．建築基準法の改正と仕様表について ＿＿＿＿＿ 1

2．仕様表の作成 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 2

2－1　仕様表を開く ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 2

2－2　テンプレートを開く ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 2

2－3　仕様表を編集する ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 3

3．図面の作成 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 10

4．テンプレートの保存＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 11

1　建築基準法の改正と仕様表について

2025年４月施行予定の建築基準法の改正により、建築確認対象の見直しや、審査省略制度（四号特例）が縮小され、建築確認の申請手続き等が変更されます。

改正前

□ 一部審査省略有

	200㎡	500㎡	延べ面積
３階以上	旧２号	旧２号	旧２号
２階	旧４号	旧４号	旧２号
１階	旧４号	旧４号	旧２号

改正後

□ 一部審査省略有

	200㎡	500㎡	延べ面積
３階以上	新２号	新２号	新２号
２階	新２号	新２号	新２号
１階	新3号	新２号	新２号

【木造建築物における建築確認審査対象の建築物の規模（都市計画区域内）】

「新2号建築物」は、建築基準法令の全ての規定が審査･検査の対象となるため、審査・検査が省略されていた構造関係規定等について、構造関係規定等の図書の提出が必要になり、提出書類が増加します。

建築確認・検査における審査（検査項目）

	改正前（旧４号建築物）	**改正後（新２号建築物）**
敷地関係規定	○ 審査する	**○ 審査する**
構造関係規定	× 審査しない ※1	**○ 審査する**
防火避難規定	× 審査しない	**○ 審査する**
設備その他 単体規定	△ 一部審査する ※2	**○ 審査する**
集団規定	○ 審査する	**○ 審査する**
省エネ建築 （建築物省エネ法）	－ 適合義務の対象外	**○ 審査する**

１：仕様規定以外の構造計算を行った場合は審査する
２：シックハウス、昇降機および浄化槽は審査する

ただし、旧４号から新２号に移る建築物のうち、仕様規定のみで構造安全性を確認できる建築物（階数2かつ300㎡以下、 平屋かつ200～300㎡の 木造建築物）については、必要事項を仕様表に記載することで構造図(伏図)を省略することができます。

構造関係の提出書類（令3章2節、3節）

各階平面図	使用構造材料一覧
２面以上の立面図	基礎・地盤説明書
２面以上の断面図	その他適合審査に 必要な書類
構造詳細図	
基礎伏図	小屋伏図
各階床伏図	２面以上の軸組図

仕様表等の提出で省略可能

ZEROでは、仕様表を作成することで構造図等の提出書類を省略することができます。

参考文献

発行：一般財団法人　日本建築防災協会
　　一般財団法人　建築行政情報センター
改正建築基準法　2階建ての木造一戸建て住宅（軸組構法）等の確認申請・審査マニュアル
改正建築基準法　2階建ての木造一戸建て住宅（軸組構法）等の確認申請・審査マニュアル（ダイジェスト版）

発行：一般社団法人　日本ツーバイフォー建築協会
２階建ての木造一戸建て住宅（枠組壁工法）等の確認申請・審査マニュアル

2 仕様表の作成

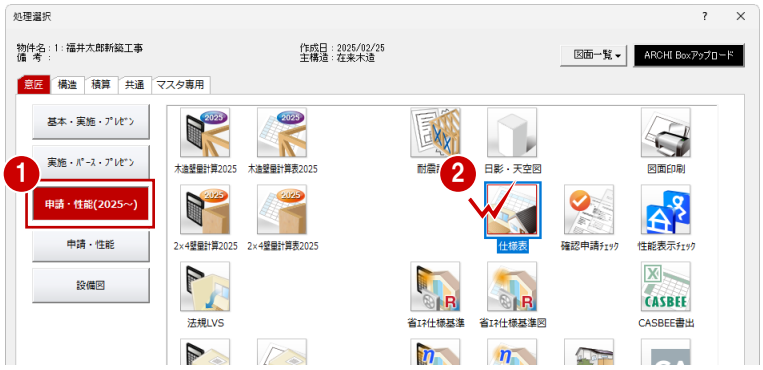
2-1 仕様表を開く

物件を開いた後、仕様表を開きます。

❶「処理選択」ダイアログの「申請・性能(2025~)」をクリックします。

※ ZERO Ver 11 から処理選択に「申請・性能(2025~)」が追加されています。以前のプログラムからバージョンアップした場合は、メニュー画面のリセット、もしくは新規タブの追加をおこなってください。詳しくは、ヘルプを参照してください。

❷「仕様表」をダブルクリックします。



2-2 テンプレートを開く

テンプレートを選択し、仕様表に必要な図面情報を配置します。

※ Microsoft Excelがインストールされていない場合、テンプレートを開くことができません。

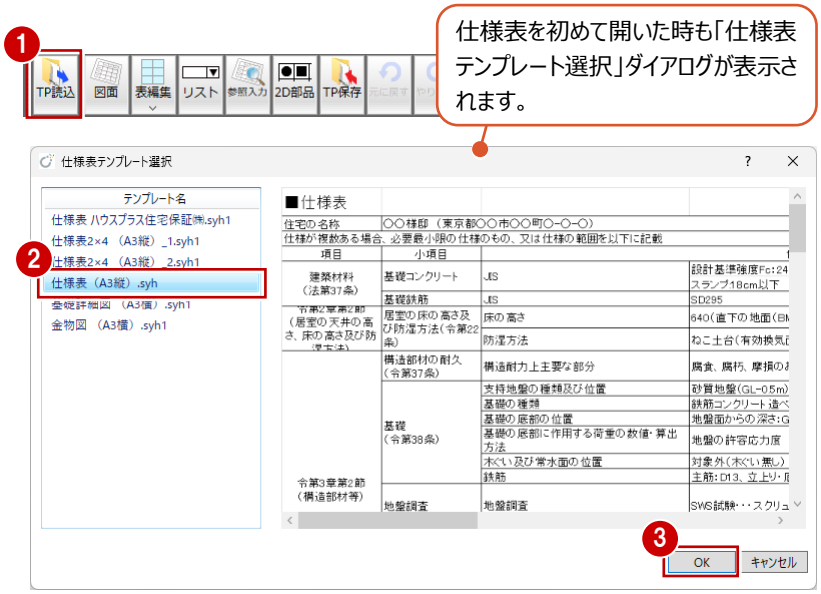
❶「テンプレートを開く」をクリックします。

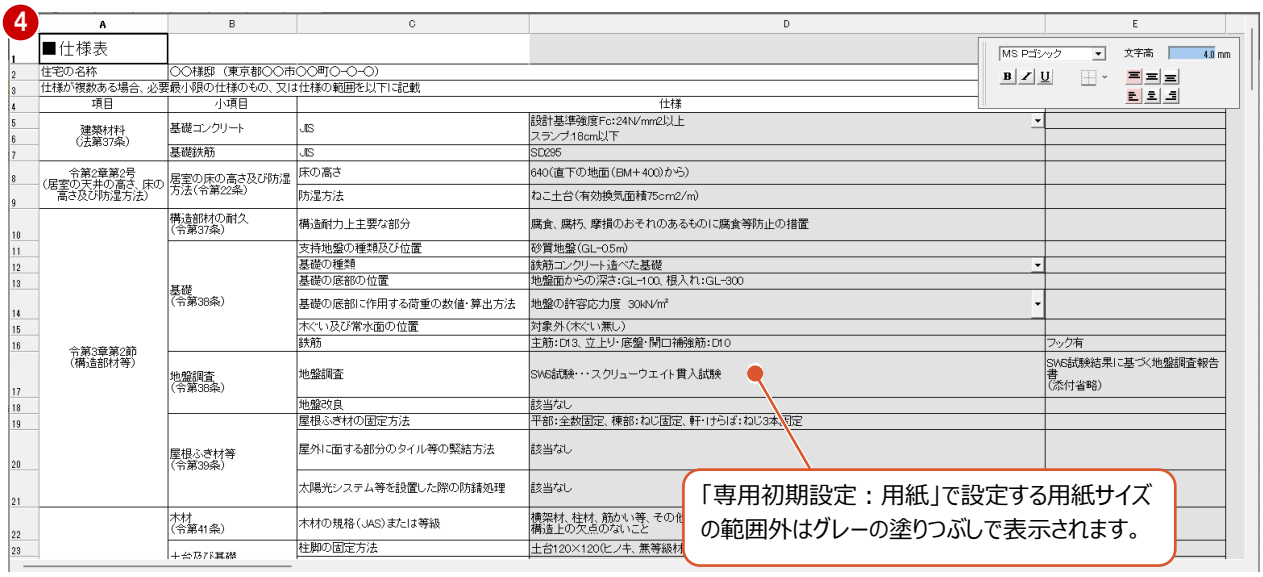
❷「仕様表テンプレート選択」ダイアログで、使用するテンプレートを選択します。
テンプレートを選択すると、右側にプレビューが表示されます。

❸ テンプレートの内容を確認して「OK」をクリックします。

❹ テンプレートが読み込まれ、仕様表の編集画面が表示されます。

※ テンプレートの削除は、「4.テンプレート保存」を参照してください。⇒ P.11





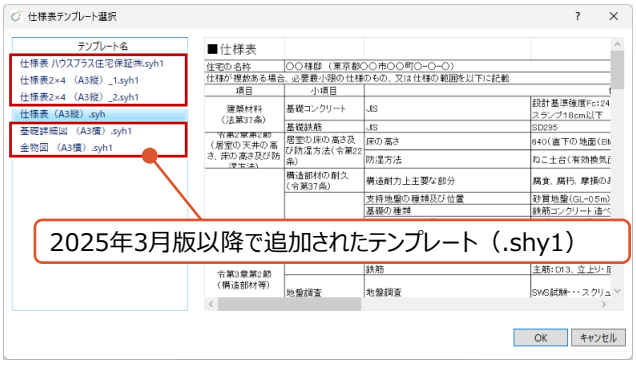
補足　**2025 年 3 月版（ARCHITREND ZERO Ver 11.1）で追加されたテンプレートについて**

2025年3月版以降のARCHITREND ZERO を新規インストールした場合、2025年3月版以降に追加されたテンプレートが入っています。

2025年2月版以前のプログラムを更新した場合、3月版で追加されたテンプレートは入っていません。

FCアカウントで公開化されている更新ツールを使用してテンプレートを追加してください。

2025年3月版以降に追加されたテンプレートおよび保存したテンプレートの拡張子は「.syh1」になります。



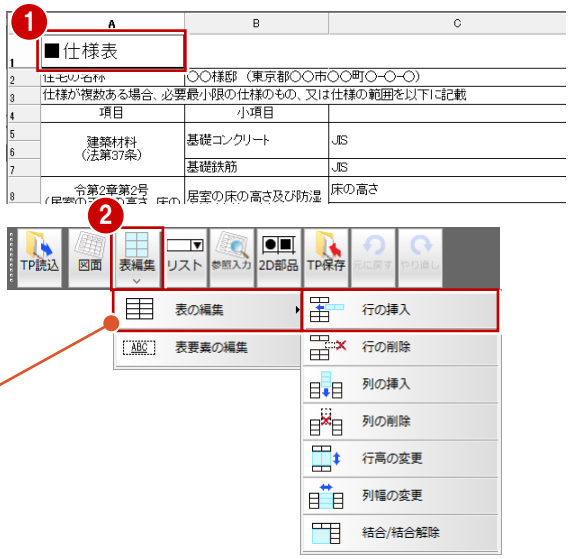
2-3　仕様表を編集する

仕様表の行や列、セルの形状を編集します。

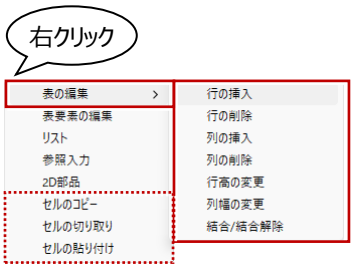
行の挿入/列の挿入

❶ 挿入する行の下の行のセルを選択します。

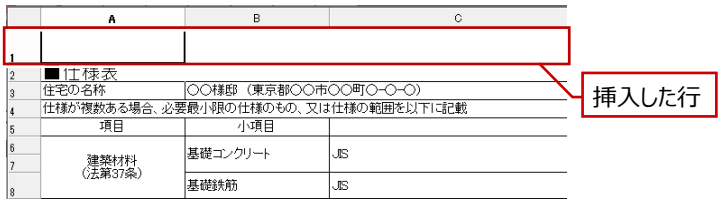
❷「表編集」メニューから「表の編集」の「行の挿入」を選びます。
選択したセルの上に行が挿入されます。



セルを選択して右クリックすると、「表の編集」メニューから同じコマンドを実行できます。

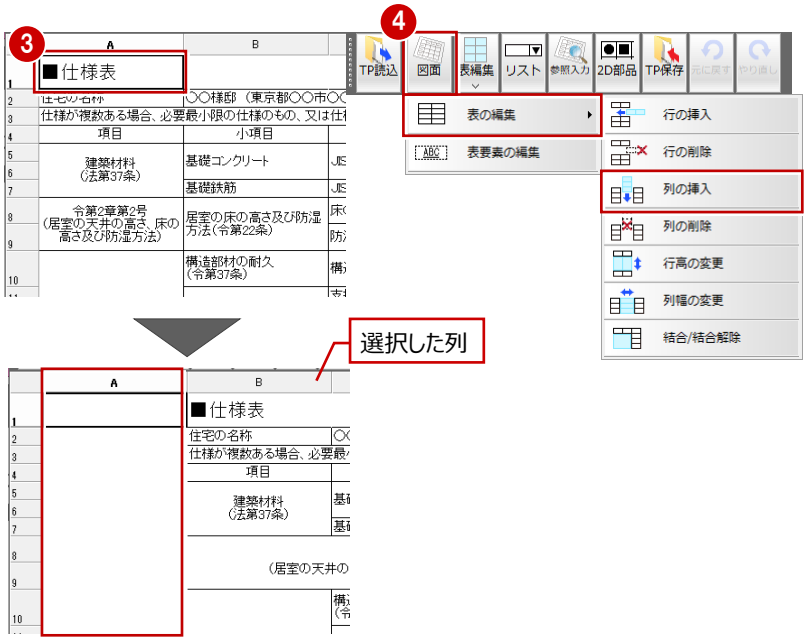


※ セルのコピー、切り取り、貼り付けはショートカットキーでも行えます。
- コピー：Ctrl + C
- 切り取り：Ctrl + X
- 貼り付け：Ctrl + V



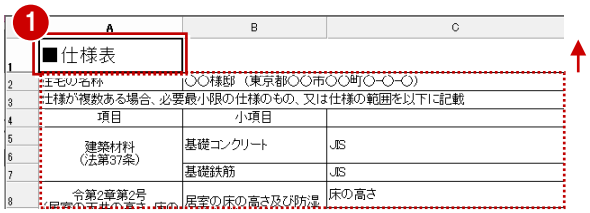
❸ 挿入する列の右の列のセルを選択します。

❹「表編集」メニューから「表の編集」の「列の挿入」を選びます。
選択したセルの左に列が挿入されます。

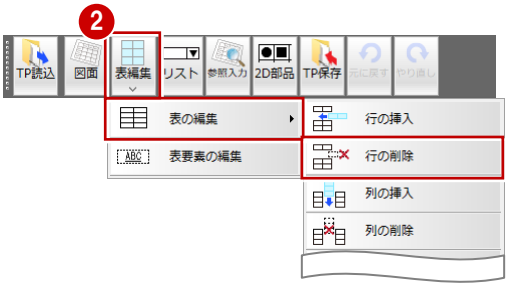


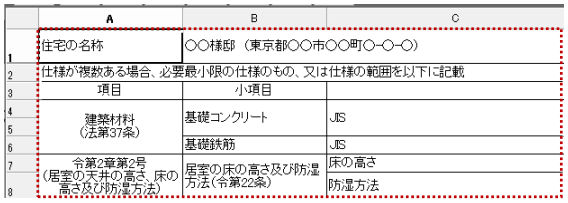
行の削除/列の削除

❶ 削除する行のセルを選択します。



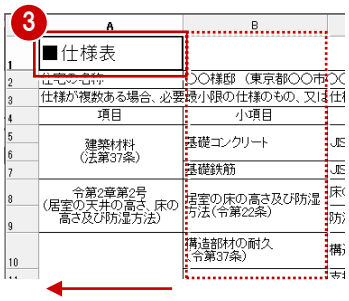
❷ 「表編集」メニューから「表の編集」の「行の削除」を選びます。
選択した行が削除されます。

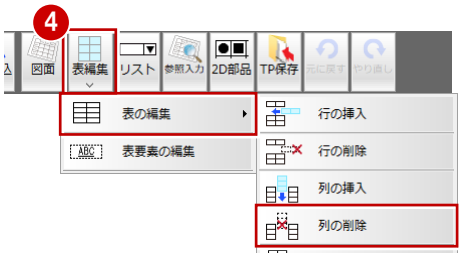


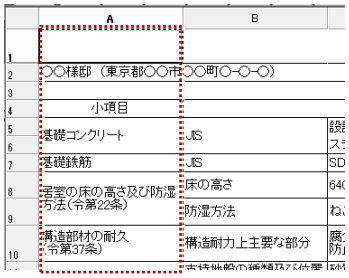


❸ 削除する列のセルを選択します。

❹ 「表編集」メニューから「表の編集」の「列の削除」を選びます。
選択した列が削除されます。

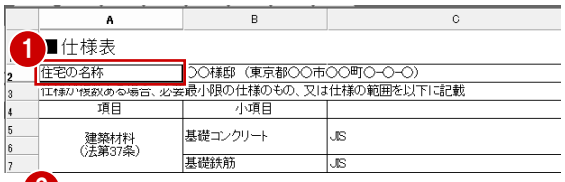




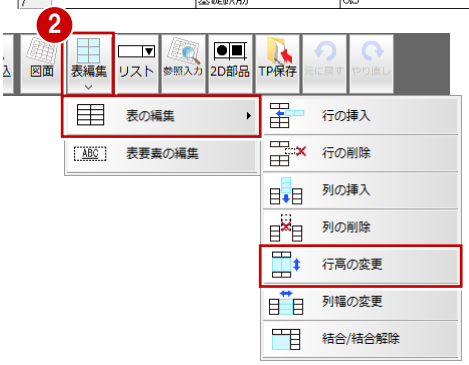


行高の変更/列幅の変更

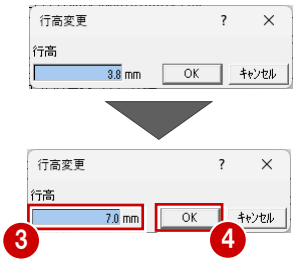
❶ 行高を変更する行のセルをクリックします。



❷「表編集」メニューから「表の編集」の「行高の変更」を選びます。

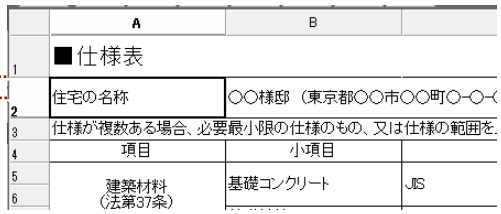


❸❹「行高変更」ダイアログに現在の行高が表示されるので、変更後の値を入力して「OK」をクリックします。
行高が変更されます。

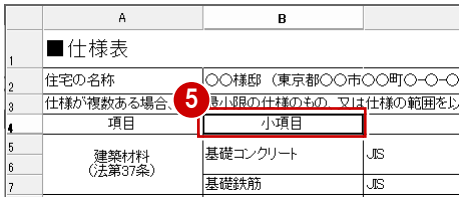


【変更前】

【変更後】

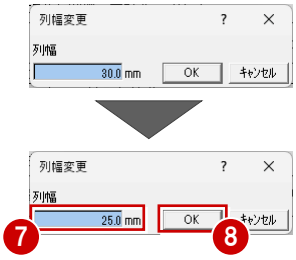


❺ 列幅を変更する列のセルをクリックします。

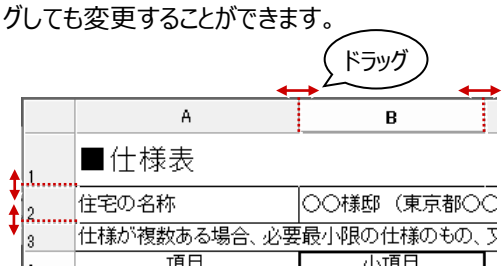


❻「表編集」メニューから「表の編集」の「列幅の変更」を選びます。

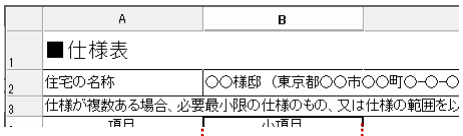
❼❽「列幅変更」ダイアログに現在の列幅が表示されるので、変更後の値を入力して「OK」をクリックします。
列幅が変更されます。



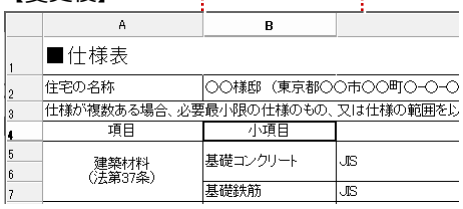
行高や列幅は、行名間、列名間の罫線をドラッグしても変更することができます。



【変更前】

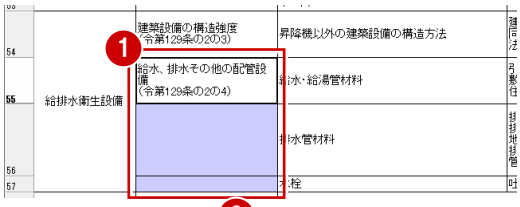


【変更後】

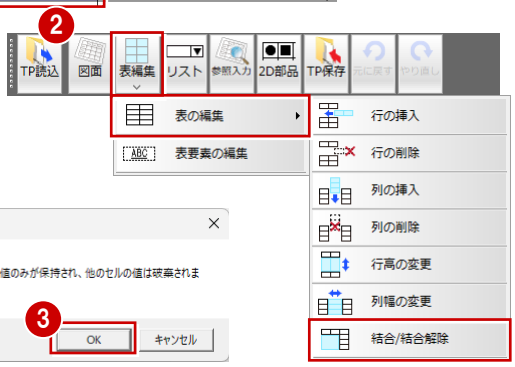


セルの結合/結合解除

❶ 結合するセルを複数選択します。

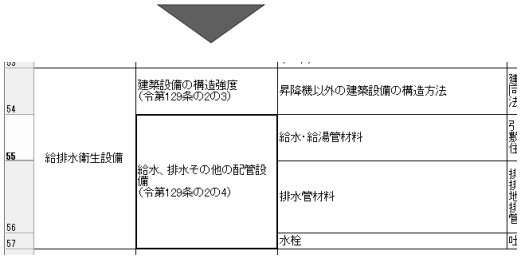


❷ 「表編集」メニューから「表の編集」の「結合/結合解除」を選びます。

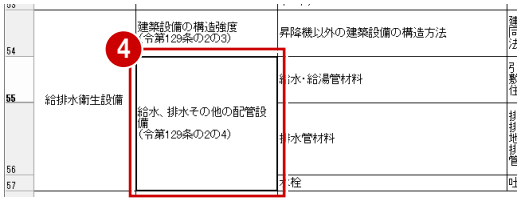


❸ 確認画面で「OK」をクリックします。
選択したセルが結合されます。

※ セルを結合すると、左上のセルの値のみ保存され、他のセルの値は破棄されます。



❹❺ 結合を解除するには、結合されたセルを選択して「表編集」メニューから「表の編集」の「結合/解除」を選びます。
セルの結合が解除されます。



表要素の編集

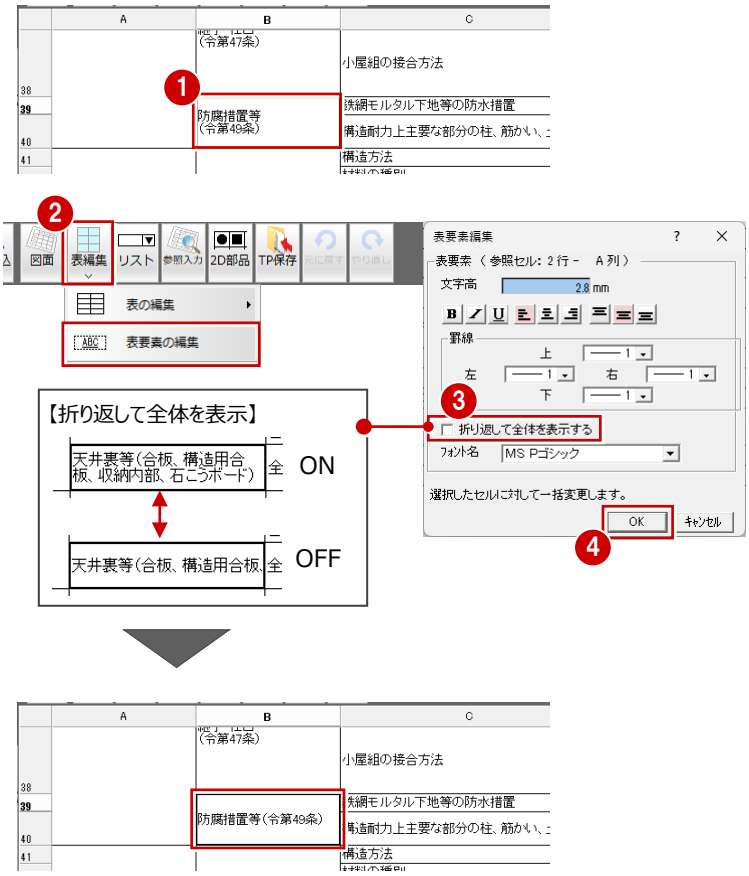
選択したセルのフォントや罫線など、セルのスタイルを変更します。

❶ 編集したいセルを選択します。

❷ 「表編集」メニューから「表要素の編集」を選びます。
「表要素編集」ダイアログが表示されます。

❸ ここでは、「折り返して全体を表示する」を OFF にします。
同様に、文字の大きさや罫線の設定を変更します。
⇒「表要素編集」ダイアログの各項目については ヘルプ参照

❹ 設定を終えたら「OK」をクリックします。



仕様表を開いている間表示されているダイアログからも、書式の変更や罫線の設定が行えます（罫線は実線のみ）。
ただし、全ての機能が「表要素編集」ダイアログと同じではありません。

リストの作成

選択したセルに項目を設定することで、文字を入力しなくてもリストから項目を選べるようになります。

❶ リストを設定したいセルを選択します。

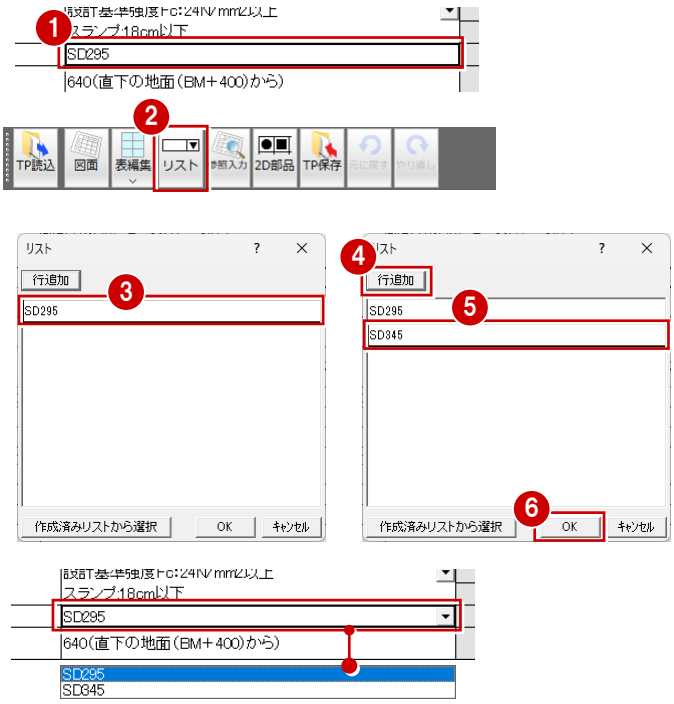
❷ 「リスト」をクリックします。

❸ 「リスト」ダイアログで、リストに設定する項目を入力します。

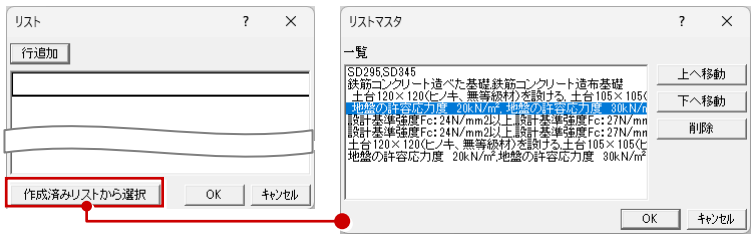
❹❺ 項目を追加する場合は、「行追加」をクリックして項目名を入力します。

❻ 全ての項目を入力したら「OK」をクリックします。

セルにリストが設定され、リストから設定した項目を選択することができます。



「作成済みリストから選択」をクリックすると、作成済みのリストから項目を取り込むことができます。
また、項目リストの並べ替え、削除もおこなえます。



参照入力

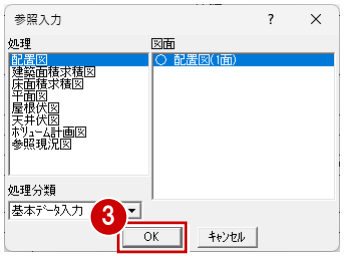
他の図面を別ウィンドウに表示して、他の図面の文字や数値を仕様表に取り込むことができます。

❶ 文字を取り込むセルを選択します。

❷「参照入力」をクリックします。

❸「参照入力」ダイアログで、「処理」と「図面」から参考にする図面を選択して「OK」をクリックします。

※ 一覧に表示されていない図面を選択したい場合は、「処理分類」を切り替えて他の図面を選択します。

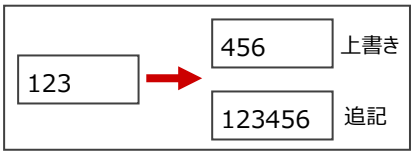


❹「参照入力」ダイアログで取り込む文字をクリックします。
「参照文字」にクリックした文字が入力されます。

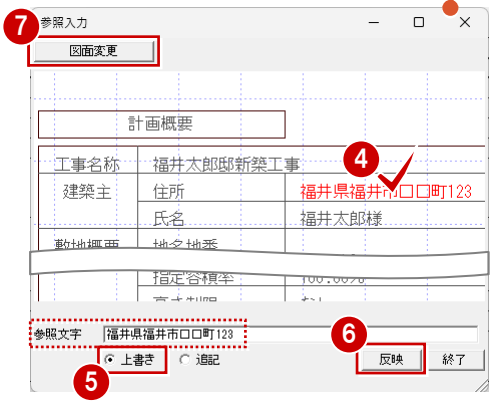
❺❻ 文字の取り込み方法を選択します。
ここでは「上書き」を選択して「反映」をクリックします。

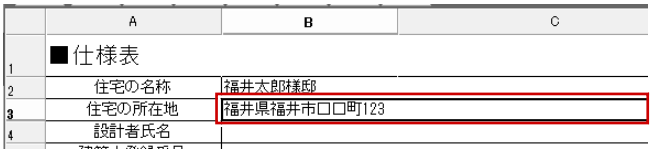
上書き：現在セルに入力されている文字を削除して取り込みます。

追記：現在セルに入力されている文字の後ろに取り込みます。



「参照入力」ダイアログを開いたままセルの選択や編集を行うことができます。





セルに選択した文字が取り込まれます。

❼ 他の図面を参照する場合は、「図面変更」から表示する図面を変更します。

納まり図を配置

2D 部品マスタに登録されている納まり図を仕様表に配置します。

ここでは、新規作成から耐火構造図の構造詳細図を配置してみましょう。

❶ 納まり図を配置するセルを選択します。

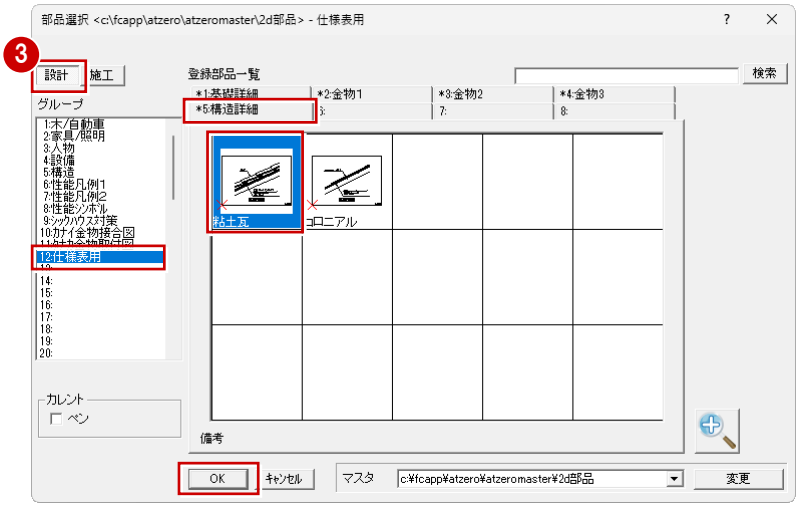
❷「2D 部品」をクリックします。

❸「部品選択」ダイアログで、「設定」の「仕様表用」グループから「構造詳細」タブに登録されている部品を選びます。

※「仕様表用」の部品は、2025 年 3 月版より追加されています。登録されていない場合は、FC アカウントから更新ツールを使用して追加してください。

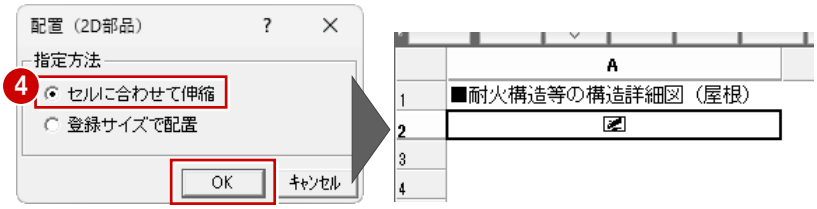
※「部品選択」ダイアログの「カレント」の「ペン」は、仕様表図面に自動配置するときに他の収まり図とペン No.を揃えたいときに ON にします。

※ 自社仕様の納まり図は、矩計図等で汎用機能の「2D 部品」メニューから「登録」を選んで部品マスタに登録してください。

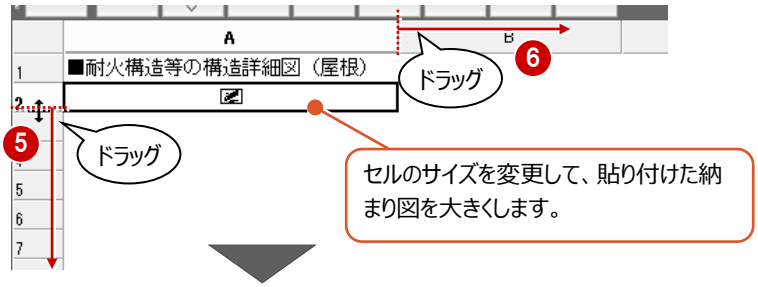


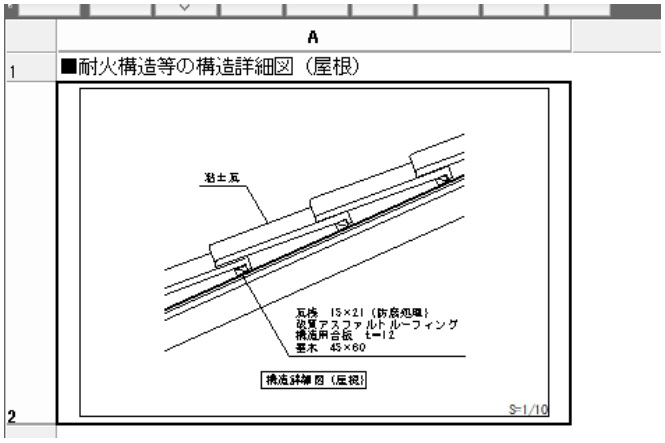
❹「配置（2D 部品）」ダイアログが開きます。ここでは、「セルに合わせて伸縮」を選び、「OK」をクリックします。

※ 部品マスタに登録したときのサイズにしたい場合は、「登録サイズで配置」を選びます。



❺❻ 納まり図を配置したセルの高さと幅をドラッグして変更します。



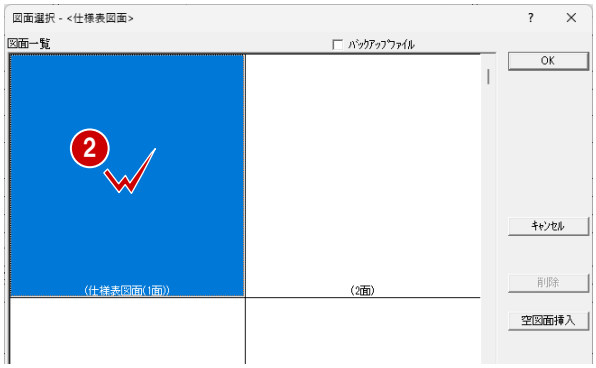


3 図面の作成

仕様表を編集したら、図面を開き仕様表を配置します。

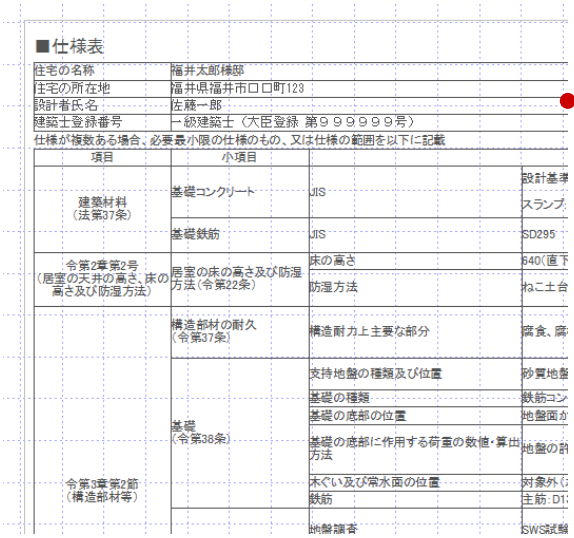
❶「仕様表図面を開く」をクリックします。

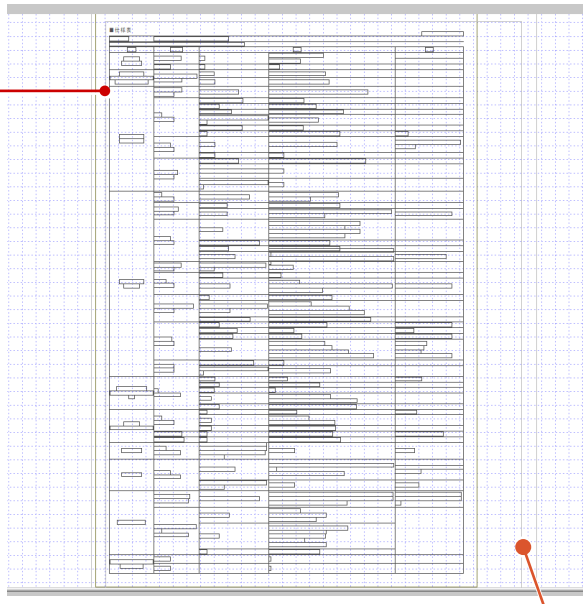
❷「図面選択」ダイアログで仕様表を配置する図面ダブルクリックします。
仕様表図面が開きます。



❸「図面自動立上」をクリックします。
仕様表が配置されます。

※ 仕様表図面に入力されているデータがある場合、すべて削除して表を配置し直します。





用紙枠のサイズや向きは、「専用初期設定：用紙」で設定します。

※ 仕様表の編集は、「戻る」で仕様表に戻って再編集します。
仕様表図面で一時的に変更する場合は、「パック化選択切り替え」をOFFにして編集します。

4 テンプレートの保存

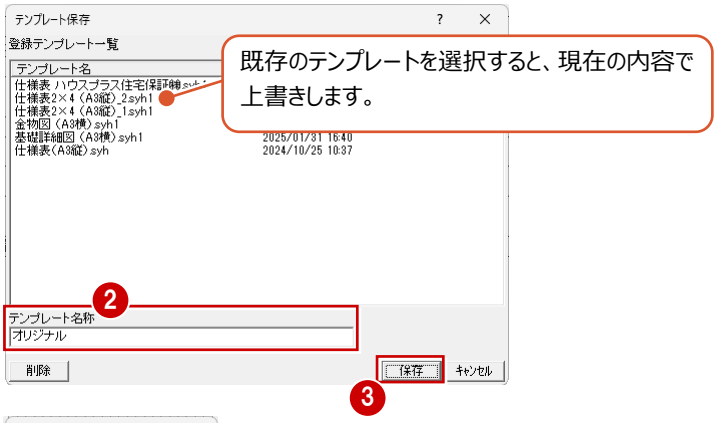
編集した表をテンプレートとして保存します。次回から保存したテンプレートを使って仕様表の作成ができます。

❶「テンプレート保存」をクリックします。

❷ 新しいテンプレートとして保存する場合は、テンプレート名称を入力します。

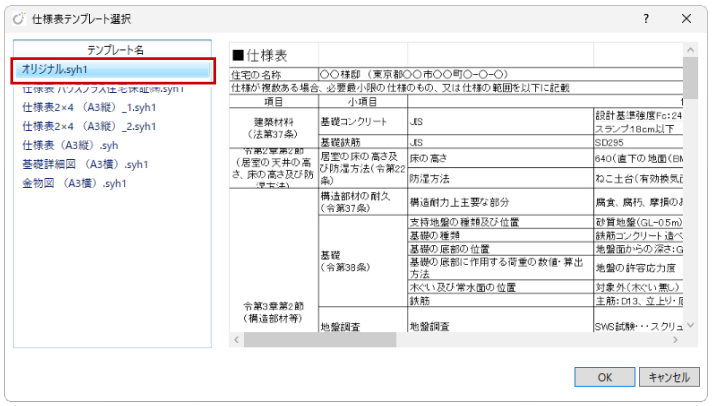
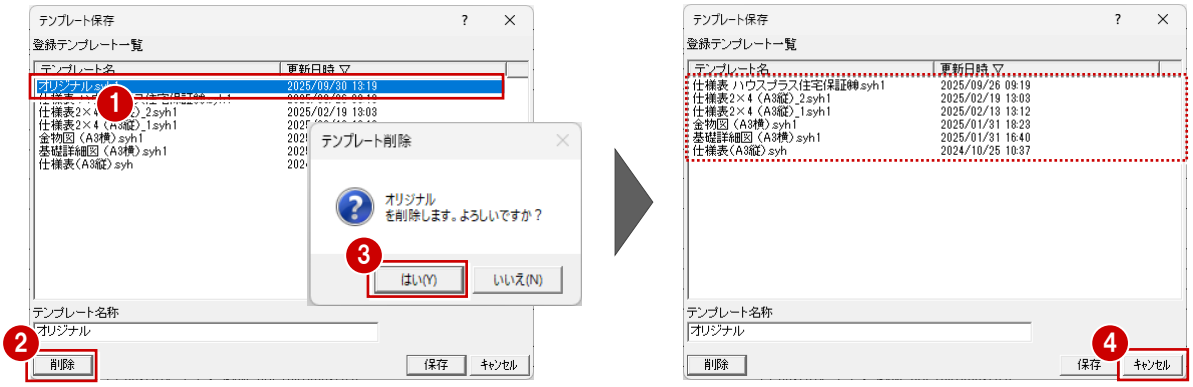
※ 既存のテンプレートに上書きする場合は、一覧から上書きするテンプレートを選択します。

❸「保存」をクリックします。



❹ 確認画面で「OK」をクリックします。

❺「テンプレートを開く」をクリックすると、保存テンプレートが追加されていることが確認できます。



一覧のテンプレートを削除するには、「テンプレート保存」ダイアログでテンプレートを選択して「削除」をクリックした後、「キャンセル」をクリックしてダイアログを閉じます。